

ごあいさつ

北谷町長 野国 昌春



北谷町では「平和であることがまちづくりの原点である」との考えの下、ふるさとへ帰ることが許された10月22日を「北谷町民平和の日」として条例を制定するとともに、同日から同月末日までを「平和推進旬間」として規則を定め、期間中に「平和祈念祭」を開催しております。

先の大戦では、多くの町民が生命と財産を失い、その上終戦時には、町の全域が米軍に占領されたことから、かろうじて生き延びた町民は、生まれ育った土地で生活を続ける事すら許されませんでした。

そのような中、終戦の翌年1946年10月22日に、町内の一部に居住が許されたことで、焦土と化した故郷の復興に初めて着手いたしました。

町民は貧しい暮らしの中、家屋の建設、耕作地の開墾などの重労働に耐えながら、懸命に働き、町の復興を成し遂げております。

北谷町発展の礎を築いていただきました、先人達のご労苦に対しまして、心から敬意を表し、これまで築き上げてきた繁栄を、次の世代に継承することはもちろん、命の尊さや平和の大切さを語り継いで行くことが、私どもの重要な責務であると考えております。

すべての町民が、世界平和への願いを込めた「北谷町民平和の日」と「北谷町非核宣言」を尊重し、戦争の実相を正しく把握するとともに、平和思想の普及・啓発と、平和の尊さ、命の大切さを、親から子、子から孫へと継承していかなければならないと考えております。

今年度の「平和祈念祭」は、新型コロナウイルス感染症まん延防止を考慮し、昨年度に引き続き、特設サイトを設け、ウェブ発信により開催いたします。

今年度は、帰村復興から75年の節目を迎えることから、「北谷町民平和の日」を様々なコンテンツで紹介し、平和について考える機会を創出してまいります。

平和の尊さや命の大切さは、人類にとって何物にも代えられないものであります。多くの皆様にご覧いただき、改めて平和であることの意義を考える機会としていただければ幸いに存じます。

令和3年10月22日



北谷町ピースメッセンジャーを認定

北谷町では、令和2年度から、平和の尊さ、命の大切さを未来に受け継ぎ、本町の平和推進に積極的に携わる人材を「北谷町ピースメッセンジャー」として認定しております。

第1回に認定されたのは、令和2年度広島・長崎平和学習派遣者8名の皆さんです。認定された皆さんは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、県外派遣は叶いませんでしたが、北谷町のあゆみや沖縄戦に関する学習、フィールドワーク等を行い、平和祈念祭では、学習成果や平和メッセージの発表を行っております。

過去の戦争体験を風化させることなく、次世代に正しく継承する人材として町の平和推進に携わっていることから、「北谷町ピースメッセンジャー」認定されることとなりました。

認定者からは「普段の生活の中に沖縄戦の跡があることを知った」「平和について発信ができるよう頑張っていきたい」等の声がありました。



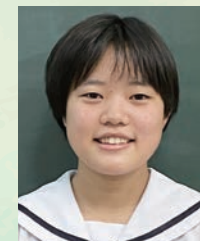
第1回北谷町ピースメッセンジャーに認定された令和2年度の広島・長崎平和学習派遣者の皆さん

北谷高等学校：濱里桃榎・松山愛奈
北谷中学校：奥間きらら・相野谷えま・糸村絳麗
桑江中学校：友利愛結・新城優太郎・田仲碧
(敬称略)

令和3年度広島・長崎平和学習派遣者

令和3年度広島・長崎平和学習派遣者は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響から県外派遣が叶わなかった8名の皆さんと、新たに各学校から推薦された生徒3名、教諭3名の計14名です。現在、県外派遣に向けて、オンライン会議システムZoom等を活用し、沖縄戦や長崎の原爆について学んでいます。(県外派遣は、年度内を予定しています。)

令和3年度の新たに各学校から推進された皆さん



北谷高等学校 新垣 琉空
北谷中学校 運天 愛姫
桑江中学校 中嶋 健太
北谷高等学校教諭 宮国 麻弥子
北谷中学校教諭 久高 日輪子
桑江中学校教諭 晨原 陽介 (敬称略)